

富士通「SPARC Enterprise M4000(Solaris 10) + Interstage Application Server V9」
アシスト「WebFOCUS for Solaris Version 7 Release 6 SP10」
検証結果報告書

株式会社アシスト
IB ソフトウェア事業部

検証日 2010年3月8日 から 2010年3月11日
検証場所 富士通プラットフォームソリューションセンター

製品の性質上、本書ではさまざまなハードウェア製品およびソフトウェア製品の商用名を記載しています。これらの名称の多くは各社の商標または登録商標です。本書ではこれらの製品名を商標登録されていない名称として扱う意図はありません。したがって、本書の読者はこれらの製品名を引用以外の目的で使用する場合、各社の商標権について事前に調べる必要があります。

Copyright (C) 2010 アシスト 本書の一部または全部を弊社からの文書による許可なしに複製することを禁止します。

【目的と環境】

弊社 BI ツール WebFOCUS for Solaris Version 7 Release 6 SP10 が富士通 SPARC Enterprise M4000 (Solaris 10)上の Interstage Application Server V9.2 で稼動確認を行い、問題なく動作することを確認する。

Interstage Application Server WebFOCUS インストール環境

ハードウェア SPARC Enterprise M4000
OS Solaris 10
ソフトウェア Interstage Application Server Enterprise Edition Version 9.2
WebFOCUS Reporting Server Version 7 Release 6 SP10
WebFOCUS Client Version 7 Release 6 SP10 Hotfix 2

OS 環境 LOCALE を ja_JP.PCK に変更するため、.login ファイルを編集し追加

```
setenv LANG ja_JP.PCK
```

JAVA の設定を環境変数に追加するため、.login ファイルを編集し追加

```
setenv JAVA_HOME /usr/jdk/instances/jdk1.5.0
```

```
setenv CLASSPATH $JAVA_HOME/lib/tools.jar:$JAVA_HOME/lib/dt.jar
```

```
setenv LD_LIBRARY_PATH
```

```
  /usr/sfw/lib:$JAVA_HOME/jre/lib/sparc9:$JAVA_HOME/jre/lib/sparcv9/se  
  rver:$JAVA_HOME/jre/bin:/usr/lib:/usr/dt/lib:/usr/openwin/lib:/usr/ccs/lib/  
  lib
```

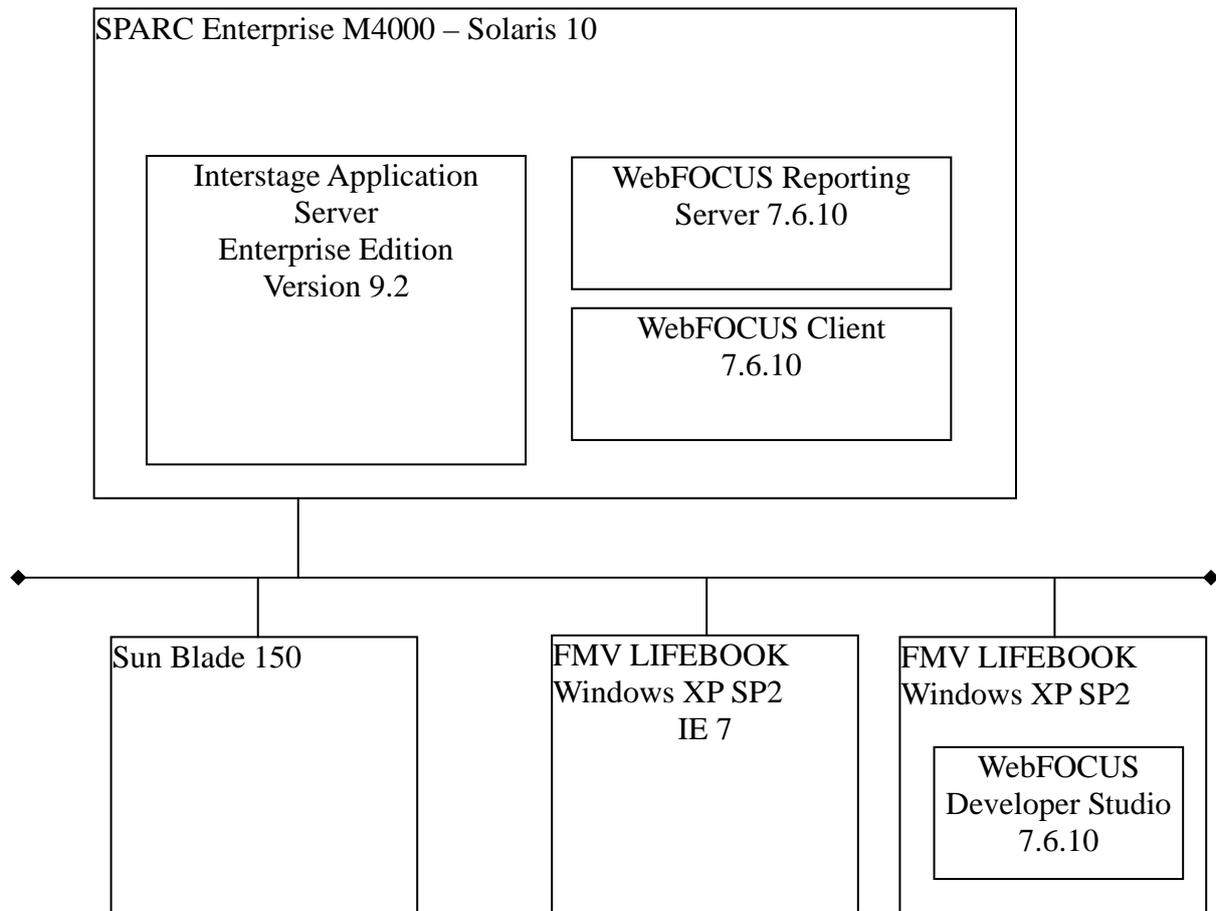
```
setenv IBI_LIBPATH $LD_LIBRARY_PATH
```

```
setenv PATH $JAVA_HOME/bin/sparcv9:/usr/bin:/usr/sbin:
```

WebFOCUS クライアント環境

ハードウェア Fujitsu FMV LIFEBOOK
OS Microsoft Windows XP SP2
ソフトウェア IE 7
WebFOCUS Developer Studio Version 7 Release 6 SP10

【検証環境図】



【Interstage 環境設定】

Interstage に WebFOCUS の環境設定を Interstage 管理コンソールより設定

Interstage に新規ワークユニットを作成

Interstage - Interstage管理コンソール - スタンドアロン

ヘルプ ログアウト 製品情報 FUJITSU

Interstage管理コンソール
Interstage Application Server
システム
ワークユニット
サービス
リソース
セキュリティ
ツール

ワークユニット：新規作成

Interstage管理コンソール > Interstage Application Server > システム > ワークユニット > 新規作成

状態 **新規作成**
ワークユニットを新規に作成します。

簡易設定

ワークユニット名 (*)	WebFOCUS	ワークユニットを識別する名前を指定します。
ワークユニットタイプ (*)	<input checked="" type="radio"/> IJSERVER <input type="radio"/> CORBA	ワークユニットのタイプを指定します。

詳細設定 **【表示】**

Interstage - Interstage管理コンソール - スタンドアロン

ヘルプ ログアウト 製品情報 FUJITSU

Interstage管理コンソール
Interstage Application Server
システム
ワークユニット
サービス
リソース
セキュリティ
ツール

ワークユニット：新規作成

Interstage管理コンソール > Interstage Application Server > システム > ワークユニット > 新規作成

状態 **新規作成**
ワークユニットを新規に作成します。

簡易設定

ワークユニット名 (*)	WebFOCUS	ワークユニットを識別する名前を指定します。
ワークユニットタイプ (*)	<input checked="" type="radio"/> IJSERVER <input type="radio"/> CORBA	ワークユニットのタイプを指定します。

詳細設定 **【非表示】**

IJSERVER設定 【非表示】		
IJSERVERタイプ (*)	<input type="radio"/> WebアプリケーションとEJBアプリケーションを同一JavaVMで運用 <input type="radio"/> WebアプリケーションとEJBアプリケーションを別JavaVMで運用 <input checked="" type="radio"/> Webアプリケーションのみ運用 <input type="radio"/> EJBアプリケーションのみ運用	IJSERVERのタイプを指定します。
V8.0互換モードのIJSERVER作成	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	IJSERVERをV8.0互換モードで作成するか/作成しないかを指定します。

IJSERVER タイプを『Web アプリケーションのみ運用』を選択し、ワークユニットを作成

ワークユニット作成後、war ファイルの配備



配備ファイルを『サーバ上に格納されているファイルを配備する』を選択し、サーバ側の war ファイルを指定

詳細設定から Web アプリケーション設定でアプリケーション名等を変更



Web アプリケーション名を『ibi_apps』に変更、エンコーディングに『MS932』を設定、『配備』を実行

作成したワークユニット WebFOCUS の環境設定



作成時に JavaVM オプションに『-Dfile.encoding=MS932 -Djava.awt.headless=true』を追加

ワークユニットの起動



【Web サーバ環境設定】

/var/opt/FJSVihs/servers/FJapache/conf/httpd.conf に Alias を追加

```

504 # We include the /icons/ alias for FancyIndexed directory listings.  If you
505 # do not use FancyIndexing, you may comment this out.
506 #
507 Alias /icons/ "/opt/FJSVihs/servers/FJapache/icons/"
508
509 Alias /ibi_html/ "/export/home/guest/ibi/WebFOCUS76/ibi_html/"
510 Alias /approot/ "/export/home/guest/ibi/apps/"
511

```

Alias には ibi_html,approot を追加

Web サーバの再起動

Interstage管理コンソール - Interstage管理コンソール - スタンドアロン

ヘルプ ログアウト 製品情報 FUJITSU

Interstage管理コンソール
 Interstage Application Server
 システム
 ワークユニット
 WebFOCUS
 WebFOCUS1
 test
 サービス
 イベントサービス
 Webサーバ
 リポストリ
 リソース
 セキュリティ
 ツール

Webサーバ：一覧

Interstage管理コンソール > Interstage Application Server > システム > サービス > Webサーバ > 一覧

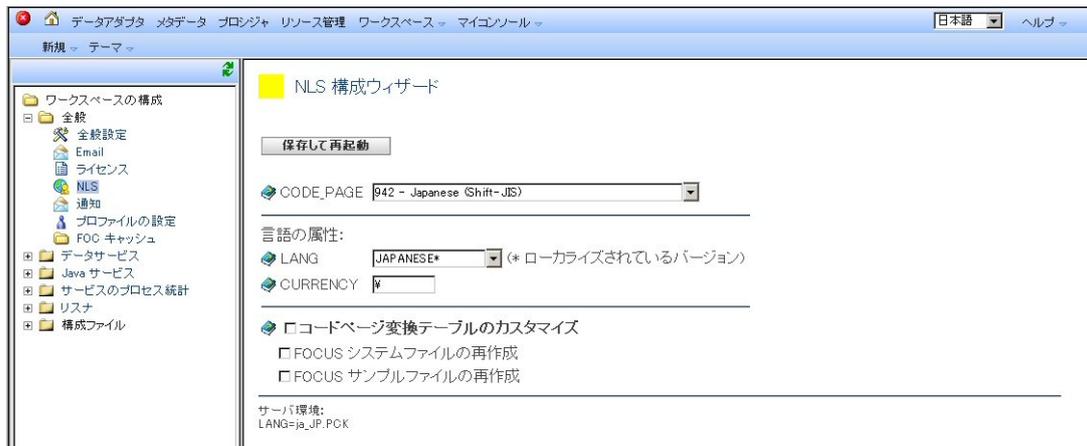
一覧 新規作成
 Webサーバの一覧を表示し、起動/停止および削除を行います。

Webサーバ名	状態
<input type="checkbox"/> FJapache	起動

一覧の再取得 全選択 起動 停止 削除

【WebFOCUS Reporting Server の環境設定】

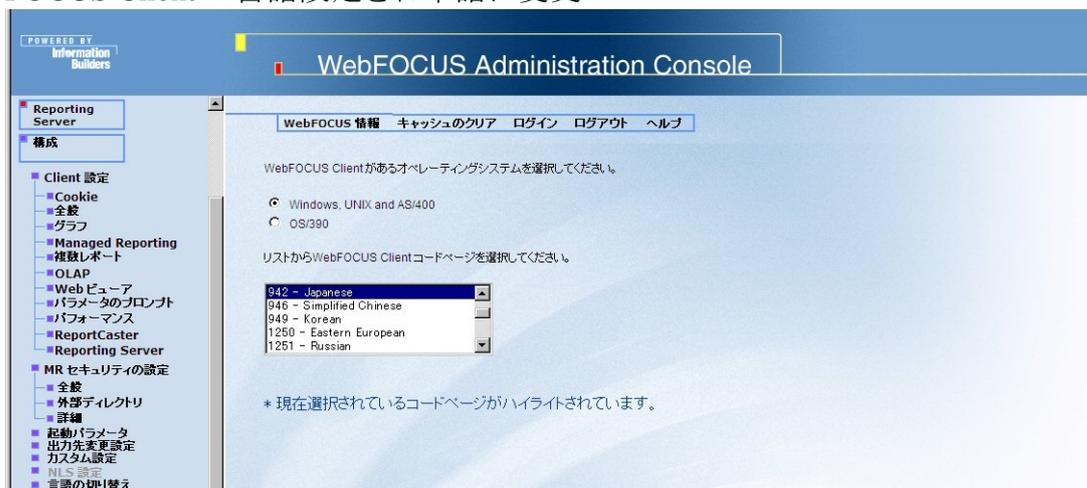
WebFOCUS Reporting Server の言語情報を SJIS に変更



CODE_PAGE を『Shift_JIS』に LANG を『JAPANESE』にし、WebFOCUS Reporting Server を再起動

【WebFOCUS Client の環境設定】

WebFOCUS Client の言語設定を日本語に変更



【検証スケジュール】

- | | | |
|------------|----|--------------------------------------|
| 2010/03/08 | 午前 | Interstage Application Server インストール |
| | 午後 | WebFOCUS Reporting Server インストール |
| | | WebFOCUS Client インストール |
| | | WebFOCUS テスト環境作成 |
| | | WebFOCUS Reporting Server テスト |
| 2010/03/09 | 午前 | WebFOCUS Developer Studio テスト |
| | 午後 | WebFOCUS Developer Studio テスト |
| | | WebFOCUS Reporting Server テスト |
| 2010/03/11 | 午前 | WebFOCUS Reporting Server(オプション)テスト |
| | 午後 | WebFOCUS Reporting Server(オプション)テスト |
| | | 環境情報収集 |
| | | 検証終了処理(環境削除) |

【検証内容】

代表的なテスト項目の一覧を以下に記載しております。

《基本機能検証》

一般レポートの実行

縦・横の並び替えの作成、集計の作成、条件の作成、接頭語の作成
一時項目の作成、見出し・脚注の作成、中間合計の作成

PDF 出力、Excel 出力

一般グラフの実行

折れ線・散布図・円・レーダーグラフの作成

折れ線・散布図・円・レーダーグラフの PDF 出力

レポート⇄レポート、グラフ⇄グラフ、レポート⇄グラフのドリルダウン実行

マルチドリルダウンの実行

スタイル(罫線・フォント・背景色)の設定

外部スタイルシートの使用

Web ビューアの実行

コンパウンドレポートの実行

アコーディオンレポートの実行

《連携検証》

Adobe Acrobat 連携

Microsoft Excel (マクロ・シート分け・名前変更)連携

《開発(Developer Studio)検証》

WebFOCUS Reporting Server からのメタデータを取得し、データを検索

WebFOCUS Reporting Server からのメタデータを利用し、開発ツールの実行

WebFOCUS マネージドレポートの連携

開発検証はシノニム名・プロシジャ名・HTML 名はシングルバイトを利用

《アプリケーション稼動検証》

サンプルアプリケーションの実行

《オプション機能検証》

Web 開発ツールの実行

インフォアシストの実行(レポート・グラフ作成ツール)

パワーペインタ・レポートアシスタント・グラフアシスタントの実行

ダッシュボード系の実行

BI ダッシュボードの実行・開発

マネージドレポートの実行・開発

ディファード(遅延)実行

など 約 50 項目(検証パターン数:450)に関して検証し、問題なく実行できたことを確認しました。

【問い合わせ先】

本検証、WebFOCUS に関する一般的なお問い合わせ

株式会社アシスト IB ソフトウェア事業部

連絡先 電話: 03-5276-5863

E-mail: ibi_sal@ashisuto.co.jp

以上